

入試問題から“私学”を感じるって？

ちょうど3週間前の日曜日に、朝日新聞「わかるわかる運動」(広告)で、「私が歩む未来」につながる「選択」についてお伝えしました。そして、私学を選択する際には、入試問題も大きな一助になるといいます。それはどういうことなのか、日能研に聞いてみました。

そこまで考えながら
しゃべってなかったな～。

国府台女子学院中部からのメッセージ

世の中には自分と違う価値観の人がたくさんいます。文章を読むことによって得た知識や感じたことを社会生活でどう生かしていくかが、国語の大切な学びです。いろいろな人のもの見方や考え方をすることで他者に配慮できるようになると考えています。

大宮開成中学校からのメッセージ

問題文にあえて「数学の未解決問題」という情報を載せたのは、問題の背景も知ったうえで解いてもらいたいからです。なぜ世界中の数学好きが夢になるのか、解ける・解けないだけでは、数学の魅力に気づいてほしいですね。

サレジオ学院中学校からのメッセージ

本校の理念のひとつ、「25歳の男づくり」を意識した出題です。自分たちに今、起きていることを俯瞰して、メタな視点でとらえることも、私たちがこれからやっていかなければならないことです。視点を切り替えながら、物事を見る力を身につけてほしいと考えています。

頌栄女子学院中学校からのメッセージ

「ありえない」で終わってしまったら、理科でも科学でもありません。そこに一歩踏み込んで、進んで考えるところに発展があると思います。答えが出たら「大丈夫」と、そこで止まってしまうのではなく、ここがこうだったらどうなるかな、と広げることが大切です。

未解決？
解けちゃったらスゴイ！

数学の未解決問題として以下のコラッツ予想というものがあります。

以下の操作を繰り返せばどんな0より大きい整数も1になる。

A: 偶数の場合は半分にする
B: 奇数の場合は3倍して1を足す

現在、コンピュータによる演算でかなり大きい整数に関してもこの事実が確認されています。例えば5→16→8→4→2→1と5回の操作で1になります。次の各問に答えなさい。

問1 23は何回の操作で1になりますか。
問2 2023も操作を繰り返していくと1になります。では逆に、5回の操作で2023になる5桁の整数の中で2番目に大きい数はいくつですか。

あるきだす 選択。

実際に自分が体験したこと、
どうやって伝えよう。

国府台女子学院中部からのメッセージ

社会科の教科書には、これまでの人たちが生きてきた歴史や関心してきた知見の蓄積が書かれています。これも人類の物語といえるでしょう。例えば、次のような文章を見てみましょう。

自由民権運動が広がる
社会のしくみが大きく変わっていく中で、政府の改革に不満をもつ土壌が反乱を起こしました。その最大の反乱が西南戦争です。政府は、徴兵令によりつくられた新しい軍隊でこれをおさえました。それ以後、武力による反乱はなくなり、人々は言論で政府に訴えていくようになりました。

未来から見た現在。
2019年の終わりがら2022年ごろにかけて、新型コロナウイルス感染症とよばれる病気が世界的に流行しました。この時期、日本国内では、……

頌栄女子学院中学校からのメッセージ

昨年11月には、皆月と天王星が同時に起こるといって珍しい天体ショーが見られました。以下は、小学生の親子さんとお父さんの会話です。

お父さん 「部分月食が来たよ。観察しないかい?」
親子さん 「んー、月食は珍しいから、皆月月食になったらいいな。」
お父さん 「でも、天王星も同時にいるのは、すごく珍しいんだよ。」
親子さん 「聞ってる。でも、月が皆月食になってからだよ。それ、天王星は肉眼じゃ見えないし、道具使っても、見えないし。」
お父さん 「それはそうなんだけど、でも、月食の様子をスキャッチする機能が出ていたんじゃないかい?」
親子さん 「もう聞いてあるから大丈夫。」
そうやって、親子さんはお父さんに見せました。

お父さん 「これは月食の影ではない、月の落ち欠けの影でもないよ。現実には存在しない月の影だよ。」
親子さん 「えっ、そうなの? じゃあ、描き過ぎなや。」

そっか!
今夜、月をよく見てみよう。

現在の月と地球は親子さんが描いたような月食は起こりません。現実には見ることはできませんが、架空の話として地球や月がどのような状態に見えるかを想像してみてください。

親子さん 「もう聞いてあるから大丈夫。」
お父さん 「これは月食の影ではない、月の落ち欠けの影でもないよ。現実には存在しない月の影だよ。」
親子さん 「えっ、そうなの? じゃあ、描き過ぎなや。」

私たちは日々、たくさんの「選択」と出あっています。例えば、服を選ぶとき。好きなデザイン、似合う色、流行も……。さまざまなことに考えを巡らせると思えます。昨今は、AIが服を提案してくれるサービスも存在します。でも、AIはどうやって“あなた”の服を選んでいるのでしょうか。先にあなたが入力したさまざまな条件をもとにアドバイスをしてくれるのでしょうか、感性や想いまでももみ取れるのでしょうか。ビッグデータであなたと似た人を探して、あくまで統計学的に「最適と推測した解」を導き出すのが、現時点でのAIがして

ることなのでしょう。AIはとても便利な道具です。でも、「選択」=最適解を導き出すことなのでしょうか。それでは、同じ条件下では、みんなが「同じ」になってしまう。“あなた”という「個」はどこへ。流行色などにどらわれず、「私はこの色が着たい!」。そういう〈意志や意図〉をもった選択が「個」であり、それを大切にすることが、その人の可能性を無限に広げていくのだと日能研は考えます。〈意志をもった選択〉—それは中学受験でも。進学後の自分を想像する。思い描く未来に向かって歩む

ことができる学び舎を選ぶ。実は、入試問題からもその視点を得られるのです。入試問題には、問いの内側に私学からのメッセージがふんだんに込められています。例えば、こういう視点を大切に学んでいきますよ、こういう学びがあなたを待っています、というように。こんなメッセージを受け取った時の“私”の心の声に、耳を傾けてみてください。「この問題、おもしろい!」「この学校で学んでみたい」。今までは進学先として考えていなかったけれど、「自分に合っているのはこの学校かも!」—そんな新たな発見をするかもしれません。

入試問題を、「選抜」のためだけの道具ではなく、未来へと歩き出す「選択」につながるものにした。入試問題を通して私学と出あい、あらためて深く自分に問い直す。「私」が夢中になって学べる場所はどこ?。「私」が私学と対話する場として、問いと向き合うことができれば、それは、〈意志をもった私学選び〉—「私の選択」への一助になるはず。日能研の『シカクイアタマをマルくする。』シリーズでは、たくさんの中学入試問題を紹介しています。どうぞ存分に、私学を感じてください。



入試問題と出あった時の “私”に目を向ける。

全国規模の中学受験専門塾〈日能研〉のテストイベント

10月22日
11月5日

私学の学びにつながる豊かな体験の入り口

日能研 全国テスト

参加無料

[科目] 2科目(国語・算数) [時間] 1回目9:00集合 / 2回目13:00集合 [会場] お近くの日能研各校

保護者会同時開催
◆保護者会は、テストをお申し込みの保護者のみなさまにご参加をお願いしています。
◆学校行事などで都合がつかない場合は、どうぞお気軽にご相談ください。別日程のご案内が可能です。
◆一部、実施要項が異なる場合があります。詳しくは、日能研公式ウェブサイトまで。

〈全国テスト〉のお申し込みは、日能研公式ウェブサイトまで。日能研 検索 www.nichinoken.co.jp

